



令和2年度老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費等補助金）

「認知症の当事者と家族を一体的に支援する支援プログラムのあり方に関する調査研究事業」（継続）

認知症の人と家族の日本版一体的支援プログラムの検証

目的

本研究事業では、家族と本人への一体的かつ専門的なサポートの実現を目指し、オランダをはじめヨーロッパで広がりつつあるミーティングセンターサポートプログラムを手がかりに、認知症の本人と家族を一体的に支援する効果的な介入プログラムについて全国5地域でモデル事業を実施し効果検証を行いました。

概要

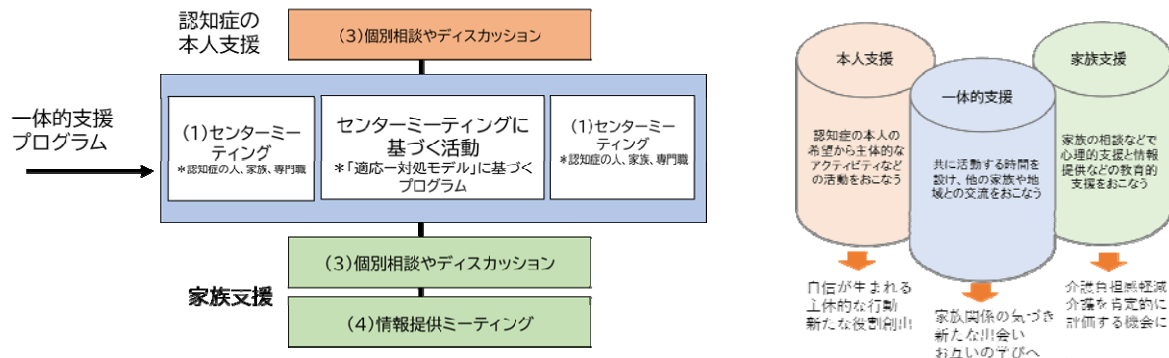
主な事業内容

- ①全国5地域（仙台市、平塚市、宇治市、駒ヶ根市、大牟田市）にてモデル事業を実施し効果を検証
- ②検討委員会を3回、モデル事業推進委員会を6回開催
- ③モデル事業と検討委員会の結果からミーティングセンター実施の手引書（暫定版）を作成

主な結果・成果

①全国5地域でのモデル事業の実施と効果

仙台市、平塚市、宇治市、駒ヶ根市、大牟田市にてモデル事業を実施した。延参加者数は認知症の人、家族、運営スタッフを合わせて563人であった。一体的支援プログラムの構造は、オランダやイギリスで展開されているモデルを参考に検討委員会にて検討し日本版モデルを下記のように作成した。



効果の概要

【家族への効果】①介護肯定感の向上（デイサービスに比べ被介護者への親近感が高まる）②ソーシャルサポートについて手段的サポートの獲得（前後比較での介入効果）③BPSDの出現数、重症度、負担度が低下する（デイサービスと比較）④BPSD重症度と出現の低下（前後比較での介入効果がみられた）
 【認知症の本人への効果】①QOLの向上（前後比較で下位尺度自尊感情の醸成に効果がみられた）②BPSDの出現数の低下（前後比較によって興奮、うつ、不安傾向などの出現数が低下）③BPSD重症度の軽減（デイサービスと比較して）④認知症の日常生活自立度の回復（前後比較で平均得点が向上した）

②ミーティングセンター実施の手引書（暫定版）作成

仕様：A4サイズ P56カラー内容：企画運営者向けであり、立ち上げから運営までの具体的な手引である。モデル事業5地域の事例、Q & A、運営の際に必要なシート、チェックリストを掲載。

成果物

○研究事業報告書：関係団体に送付するとともに、当センターウェブサイトに掲載しました。